

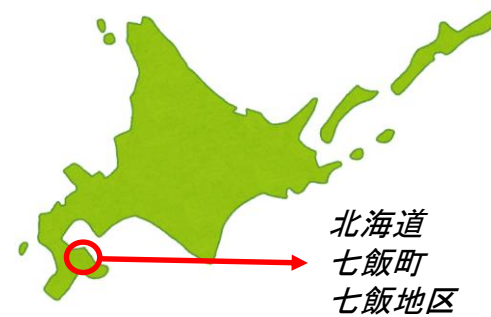
取組の概要

取組の概要 : りんごのブランド化と品質及び収穫量の向上
 計画作成主体 : 七飯町地域農業再生協議会
 対象品目 : りんご (産地面積 : 59.1ha)
 主な取組主体 : 七飯町果樹組合
 鳴川防除組合
 大中山果樹防除組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加 (10aあたり)
 助成金の活用 : 生産支援事業
 状況

ポイント

- 光センサー等の導入により統一選果基準を設けることで、品質保証を実現し、ブランド力を向上・確立させる。
- スピードスプレーヤーの導入により適期防除が可能となり、品質及び収穫量の向上を図ることで販売額の増加に繋げる。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積 : 58.9ha
 販売額 : 479千円/10a
 選果基準 : 目視による確認のみ
 防除日数 : 5~6日間

〈目標:H30年度〉

作付面積 : 59.1ha
 販売額 : 532千円/10a
 選果基準 : 目視に加え、糖度等を数値で確認
 防除日数 : 3日間



推進体制

地域の関係者(七飯町、新函館農業協同組合、農業関係者等)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 一定の出荷基準を設けブランドイメージを定着させることで高付加価値化を図っている。
- 労働力不足に対応するために省力栽培にもつなげる加工用品種を栽培し、町内菓子製造業者へ供給。

事業効果

- 光センサー等の導入によりブランドとして確立することで高付加価値化を図り、スピードスプレーヤーの導入により適期防除を行い、品質向上、生産量向上を図ることで販売額の向上に繋げる。
- 販売額の増加により、生産者の所得向上に繋がりを、りんごの産地強化を実現。

～りんごの販売額～

